

〈研究成果の紹介〉

早生で食味が良好な青ナシ新品种「なつしずく」

農業研究部園芸研究課

1. 成果の内容

1) 来歴および試験経過

「なつしずく」は（独）農業技術研究機構果樹研究所において、早生の青ナシ「平塚25号」と早生で品質が優れる赤ナシ「筑水」の交配組み合わせから選抜・育成されました（図1）。系統名「ナシ筑波50号」として、平成11年から全国34か所の試験場で試験栽培が開始され、平成16年度には、新品种候補として有望であるとの結果により、「なつしずく」として命名・登録されました。農業研究部では、平成12年に定植した苗木において、平成14年に初結実をし、その後の樹体生育や果実品質の調査から、本県における普及の可能性があると判断されました。

2) 品種特性

果皮色が黄緑色の青ナシです（写真1）。開花期は「幸水」とほぼ同じで、果実は「幸水」より10日ほど早い8月上旬に収穫可能です（ジベレリン無処理果）。果実の形は扁円形で、果

実は「幸水」より大きい。糖度、pHおよび硬度は「幸水」とほぼ同じで、食味に優れます。果面のサビはてい端部に少し発生します。みつ症の発生は少なく、ニホンナシの主要病害である黒斑病には抵抗性です。

樹勢は「幸水」と同程度かやや強く、短果枝と腋花芽の着生は「幸水」より多い。

2. 普及・利用上の問題点

県下のナシ栽培地域への導入が可能です。収穫直前にわずかに落果しやすいので、収穫遅れのないように注意する。

（伊藤 寿）



写真1 ナシ「なつしずく」の成熟果

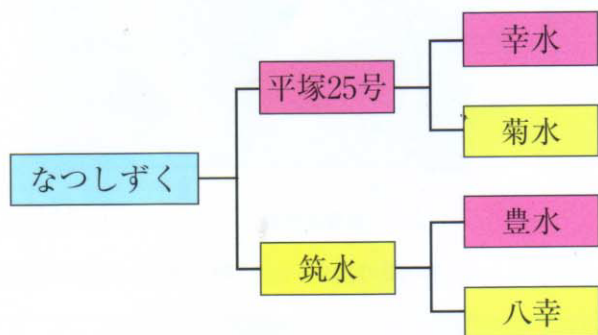


図1 ナシ「なつしずく」の系統図

表1 ナシ「なつしずく」および「幸水」の生育相と果実品質

品種名	開花期		収穫期		果実品質			
	始め	終わり	始め	終わり	果重 (g)	糖度 (%)	pH	硬度 (lbs)
なつしずく	4/13	4/21	8/5	8/18	359	12.5	5.3	4.3
幸水	4/13	4/22	8/14	8/27	336	12.6	5.4	4.3